

東京都電設工業
厚生年金基金の
加入事業主様

OVVAL NEWS LETTER

※東京都電設工業厚生年金基金の「新年金制度」、何が問題なのでしょうか※

- 問題その1. 社員の受給額が、会社が払った掛金総額よりも少ない。
- 問題その2. 運用利回り年2%を下回ると不足が発生し、掛金アップに。
- 問題その3. ある事業所が廃業したら、他の事業所がその分を負担する。

『逆ザヤ赤字給付』『運用リスク』『連帯債務』の三重苦！

⇒これを承知の上で、新年金制度に加入するのですか？

今回の
テーマ

“東京都電設工業基金”の新年金制度が抱える問題と、
加入企業の第三の選択肢を、セミナーで解説します。

「新年金制度」加入に同意しない事業所が増えています。何故でしょうか？

「総合設立確定給付企業年金」という制度が抱える構造的な問題点に気が付いたからです。

「新年金制度」の第一の問題は、“特別掛金”です。加入事業所は制度開始から“特別掛金”として、標準報酬月額1.8%を13年11か月間負担します。標準報酬月額(平均)40万円とすると、 $40万円 \times 1.8\% \times 13年11か月(167か月) \approx 約120万円$ 。これが事業所が負担する加入員一人あたりの特別掛金総額です。【御社の特別掛金総額；120万円×加入員数＝_____万円】

そこで質問です。Yes/Noでお答えください。

※加入員一人あたり120万円の特別掛金負担は、

- | | Yes | No |
|------------------------------|------------------------------|--------------------------|
| ✓ 特別掛金を払えば、年金額も特別に増えるからお得だ。 | ・・・ <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ✓ 特別掛金は、社員の将来給付に回るので無駄ではない。 | ・・・ <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |
| ✓ 特別掛金は会社が払うので、社員にとっては損ではない。 | ・・・ <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> |

正解は
セミナー

で

「新年金制度」の第二の問題は、“運用リスク”です。新年金制度の予定利率は2.0%で、従来の基金の予定利率5.50%からは引き下げていますが、毎年達成できる保証はありません。

そして「新年金制度」の第三の問題は、“連帯債務”です。総合設立基金では、事業所が倒産廃業等で消滅しても、その事業所の受給権者(OB)に対する基金からの年金給付は続きます。

これは、業界全体のOB達の年金債務を、加入事業所と現役社員で負担する“連帯債務”方式です。現に今の基金が抱えている受給権者の中には、過去に勤務していた事業所がすでに基金には存在しない(廃業・倒産や脱退等で)という、いわゆる“親なし受給者”も数多くいます。これが積立不足金の膨張につながり、多額の特別掛金の要因でもあります。

👉 裏面に続きます。こちらも大切です。必ずご覧ください。

少人数限定の特別セミナーご案内は裏面をご覧ください。

東京都電設工業
厚生年金基金の
加入事業主様

OVVAL NEWS LETTER

オーヴァル
特別セミナー

“東京都電設工業基金”の新年金制度が抱える問題と、
加入企業の第三の選択肢とは

これまで上場企業を中心に200社以上の基金問題解決を実現し、多数の厚年基金の解散や移行も支援してきた実績と経験を踏まえて、問題解決のノウハウをご提供します。

本セミナーの内容を一部紹介すると、

- (1)新年金制度が抱える問題；①逆ザヤ赤字給付、②運用リスク、③連帯債務
(2)『代行返上』＝全事業所で制度移行とは (3)「任意脱退」以外の選択肢は？
(4)会計・経理処理(簿外債務の扱い) (5)自社制度での健全な対応

参加特典として①下記の書籍無料進呈、②個別無料診断をご提供します。

1回に5社(10名)限定で先着順受付となりますのでお早めにお申し込みください。

オーヴァル・リスクマネジメント・サービシーズ
日本支社代表 宮原英臣

追伸：100%全額返金保証します。セミナー内容には絶対の自信を持っておりますが、万が一ご満足
いただければ、参加費を全額返金します。ご遠慮なく会場スタッフにお申し付け下さい。

参加申込書 下記にご記入の上、フリーダイヤルFAXでお申込みください。受付後、詳細ご案内します。

開催日時	ご希望の参加日時に✓してください。資料提供のみのご要望も受け付けています。 <input type="checkbox"/> 第1回5月18日(木)15:00～17:00 <input type="checkbox"/> 第2回5月23日(火)15:00～17:00 <input type="checkbox"/> 参加できないがセミナー資料を希望(後日、郵送いたします)		
場 所	参加お申込み企業様に追ってご案内申し上げます。		
参加費	1社(2名)・5,000円(消費税込み) *下の書籍を進呈(1社1冊)		
貴社名	ご住所	〒	
ご連絡先	Tel;	Fax;	E-Mail @
ご氏名(お役職)	()		
ご氏名(お役職)	()		

おすすめ書籍

「厚生年金基金の解散手続と退職金制度の見直し」を日本法令社から昨年8月に出版しました。基金解散が相次ぐ中で、厚生年金基金と自社の退職金制度をどう位置づけるのか、解散後の従業員福利厚生制度をどう考えるのか、等々を実務面からも分かりやすく解説しています。



講師プロフィール

【講師略歴】 宮原英臣(みやはらひでおみ)
オーヴァル・リスクマネジメント・サービシーズ 日本支社代表
1977年京都大学(経済学部)卒、三菱商事等を経て2003年から現職。
リスクマネジメント観点からの人事労務関連分野を主軸とする経営コ
ンサルタント。厚生年金基金問題の第一人者として、メディア講演・
寄稿をはじめ、自民党や民主党での内部勉強会講師も務める。著書に
「年金倒産」(プレジデント社)、「厚生年金基金解散手続&退職金
制度見直し」(日本法令社)。



申込書送付先 F A X 番号 (フリーダイヤル・24時間受付)

0120-086-504